

ようとうようしんせき
アルミニウム溶湯用浸漬ヒータ

 Yamato
Challenge and Responsibility

ALHYPER“X”

アルハイパー・エックス

脱炭素化社会への切り札！
更に加熱効率UPで
省エネルギー化を実現。



省エネ



CO₂削減



高出力



製品不良率低減



省スペース



IOT化

簡単に省エネが実現する「次世代」^{しんせき}浸漬ヒータ。

- ・非鉄金属溶解保持炉の汲出口に取り付けるだけで簡単に省エネが実現。
- ・高出力、高効率を活かし熱量不足を改善し生産量のキャバを増加。
- ・ガスと電気のハイブリッド化によりCO₂を削減。



URL:<http://www.yamato-gr.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社 ヤマトは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

産業技術総合研究所との共同開発で実現した 非鉄金属鑄造産業における脱炭素化や省エネルギー化が実現

01

鑄造産業で使用される熱源の加熱バランスを適正化し、省エネ・ランニングコスト削減・CO₂削減
放熱損失の多い汲出口に適正な熱源を配置することにより無駄な加熱を減らし、省エネを実現。

02

既存の溶解保持炉の形状に合わせて設置可能なオーダーメイド設計
お客様のご使用条件に合わせ、適正な場所に適正な熱源を配置出来るよう設計します。



03

加熱効率を追い求め、従来品より5倍以上の高出力化を実現し様々な用途に最適
補助熱源として設置し、既存の炉の延命化・性能回復・増産時の対応が実現。

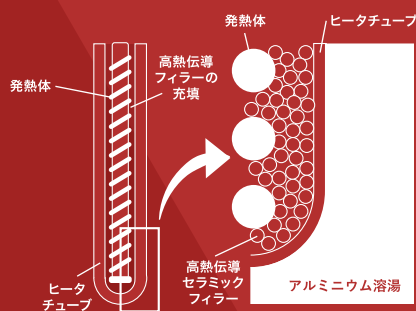
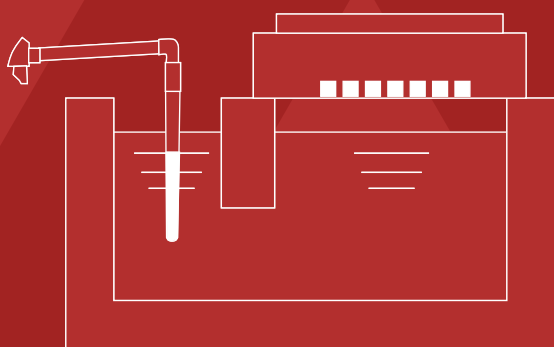


図1 高熱伝導セラミックファイラー高密度充填の模式図

高出力ヒータの特長

セラミックファイラーの種類や粒度配合、充填方法などを最適化することで、発熱体を挿入したヒータチューブ内に高熱伝導性セラミックファイラーを高密度に充填することを実現(図1)。その結果、ファイラー同士の接触による熱移動の経路が確保され、従来の5倍の熱伝達率を達成でき、発熱体からアルミニウム溶湯への高い熱伝達が可能になりました。

【仕様】

	6kW	8kW	10kW	12kW
電源	単相 AC200V			
チューブ径	Φ50	Φ60	Φ50	Φ60
チューブ長さ	600mm、800mm、1000mm			
有効発熱長	300mm	250mm	400mm	350mm
			400mm	500mm

※ラインナップ一例 ※性能向上の為、仕様を予告なく変更する場合がございます。

Point

- ヒータそのものの加熱効率を向上し、従来よりもヒータの使用温度を下げ、且つ高出力が可能となり、ヒータの延命化が実現。
- 保護管損傷のない限り、何度でも発熱線のみを取り換えが可能に。
- 他社に負けない短納期。標準サイズの保護管を使用の場合、20日間で制作可能。



株式会社 ヤマト

本社工場 / 〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺4丁目1-16
TEL:072-339-5360 FAX:072-339-5365

新大阪営業所 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目9-30 大阪地所ビル4F
TEL:06-6886-1555 FAX:06-6886-1556

Yamato Channel 

